

ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 65

平成 20 年 11 月 1 日号
(2008)

特集

読み聞かせのススメ

..... P. 2

●市 政

命を救う電話 119 番

就職に向けたスキルアップを..... P. 5

●話 題

津軽広域連合だより

弘前写真館..... P. 7

●お知らせ

催し、教室など..... P.10

●健 康

保健センターだより..... P.18

■ぼくはおにぎり名人

10月17日、草薙小学校でおにぎり教室が開催され、全校43人がクイズやおにぎり作りに挑戦。

子どもたちが作った創作おにぎりは色合いも鮮やかで味も最高。みんな大満足でした。



市が行っている読み聞かせに関する事業

弘前図書館（下白銀町）			
事業名	開催月	対 象	内 容
おたのしみ子ども図書館	通年(毎週土曜日)	幼児・小学生とその家族	読み聞かせや紙芝居など
乳幼児のためのおはなし会	5月	乳幼児とその母親	就園前の乳幼児と母親のためのおはなし会
夏休みおはなし会	7月	小学生	夏にちなんだ物語を題材に、読み聞かせ紙芝居など
おはなしと読み聞かせ講習会	10月	読み聞かせに関心のある人	絵本の選び方や読み聞かせの実演・実技指導
クリスマスおはなし会	12月	小学生	冬にちなんだ物語を題材に、読み聞かせ紙芝居など
岩木図書館（賀田1丁目）			
事業名	開催月	対 象	内 容
読み聞かせ教室	通年(毎週土曜日)	幼児・小学生とその家族	読み聞かせや紙芝居など
こどもの読書週間	4～5月	小・中学生	こどもの読書週間の期間中に、津軽の昔ッコと伝説の語り聞かせ
図書館まつり	11月	幼児・小学生とその家族	各読書グループの1年間の活動を紹介。また、読み聞かせや紙芝居も
おはなしクリスマス会	12月	小・中学生	クリスマスにちなんだおはなしや劇

お父さんやお母さんも、日々忙しい生活を送っています。子どもが「本を読んでいます。」

子どもに絵本を読んであげるときポイントとは、読み手である親も、楽しみながら読むということ。気持ちのこもった言葉は必ず子どもに伝わり、感動の共有につながります。もちろん子どもが好きな絵本は繰り返し読んであげることが必要です。

読み聞かせのポイント

館や地域の子育てサークルなどで活動している読み聞かせボランティアの人たち、図書館職員、保育所や幼稚園の先生に聞いてみるのもいいでしょう。たくさんの子どもと接している人たちの意見を参考に、その時々の子どもにとって最適な絵本を探してみてください。

「はーい、それではこれから読み聞かせを始めます」弘前図書館1階の閲覧室おはなしコーナーで、毎週土曜日に行われている絵本などの読み聞かせ「おたのしみ子ども図書館」。読み聞かせボランティアによる始まりの合図で、子どもや親子連れ、孫と一緒にのんびりおばあちゃんやおばあちゃん

「おもしろい」が待っているかもしれない。そこには「おもわぬ出会い」があるかもしれません。市では上表のとおり、読み聞かせを行っています。詳しくは弘前図書館（☎32・3794）及び岩木図書館（☎82・1651）へ。

現在市内の図書館には、8万8358冊の児童書があります。子どもの想像力を高め、感性を磨き、心を豊かにする一そんな宝物であふれています。まずは親子で図書館に出掛けてみてください。そこには「おもわぬ出会い」が待っているかもしれません。市では上表のとおり、読み聞かせを行っています。詳しくは弘前図書館（☎32・3794）及び岩木図書館（☎82・1651）へ。



INTERVIEW

おたのしみ子ども図書館の参加者にお話を伺いました

のざか 野坂 佳代さん 実生ちゃん かつし 伶司君

図書館の利用は2週間に1回くらい、本の貸し出しの期間が2週間なので、それに合わせて来ています。この読み聞かせ（おたのしみ子ども図書館）にも最近をよく参加しています。昔はそんなに読んであげていなかったん

ですが、今はできるだけ毎日、読んであげようとしています。読んであげようようになってから、子どもたちも自分から本を手にとって開いたり、「読んで」って持ってきたりすることが増えました。だんだんと本に興味を持ってきたみたいなので、これからも読み聞かせは続けたいと思います。

のおもしろさを伝え、将来読書を好む人間に育てたいという親の願いから始まりました。子どもは親が読んで聞かせる話の内容を自分なりに想像し、その話の主人公や登場人物になったつもりで楽しんで、悲しんだりします。このように内容を追体験することで豊かになる想像力・表現力が、だんだんと本に対する関心を高め、親しみを深めていくのです。

絵本を選ぶ

それではどういう絵本が読み聞かせに適しているのでしょうか。

一般的には長い間繰り返し発行されてきた絵本は、それだけ昔も今も読者に支持されているということになります（あくまで目安です）。しかし、それだけで選ぶのもちょっと不安というときは、図書



10月27日(月)～11月9日(日)
第62回 読書週間

「おもわぬ出会いがありました。」
(2008年標語)



絵本に親しむ

「はーい、それではこれから読み聞かせを始めます」弘前図書館1階の閲覧室おはなしコーナーで、毎週土曜日に行われている絵本などの読み聞かせ「おたのしみ子ども図書館」。読み聞かせボランティアによる始まりの合図で、子どもや親子連れ、孫と一緒にのんびりおばあちゃんやおばあちゃん

ちゃんも集まってきました。絵本を読んでもらっているときの子どもの目は真剣そのもの。みんな「次はどうなるのかな」という好奇心いっぱいの表情を浮かべています。ここに集まっている子どもたちからは、普段から家庭や学校で本に親しみ、そのおもしろさや魅力を知っている様子がうかがえます。家庭での読み聞かせは、まだ文字の読めない子どもに本

「秋」といえば皆さんは何を思い浮かべますか。スポーツの秋、芸術の秋、そして「読書の秋」。しかし、テレビゲームやインターネットなどの普及により、子どもたちの読書離れが進み、国語力の低下などが指摘されています。この「読書離れ」を解決するための一つの方法が共に楽しみ考える「読み聞かせ」なのです。お父さん、お母さん、子どもに本を読んであげていますか？10月27日～11月9日は「第62回読書週間」。この機会に、読み聞かせの大切さについて考えてみましょう。

読み聞かせのススメ

《切り取って電話の近くに置きましょう》

119番のかけ方

- ① 火事です／救急です／救助です
- ② 住所は _____ です
- ③ 目標物は _____ です
- ④ 状況は _____ です
- ⑤ 私の名前は _____ です
- ⑥ この電話は _____ 番です

慌てないために、②③⑤⑥を記入しておきましょう。

家族や知人のことで119番通報するときは、気が動転し、正確に通報できなくなることも。普段から自分の住所などを書いたものを用意しておきましょう。

通信指令員は、場所や状況を把握するため、いろいろな問いかけをします。救急の場合は、いち早く適切な救急措置

●緊急以外は使用しない
119番は緊急通報の専用回線で、回線数が限られています。そのため、病院紹介などの問い合わせで回線がふさがると、緊急通報がつかなくなることもあります。緊急以外は専用番号へ。

●病院紹介（☎36・6999、32・3999）
●災害案内（☎33・9119）
●慌てず・はつきり・正確に
通信指令員は、場所や状況を把握するため、いろいろな問いかけをします。救急の場合は、いち早く適切な救急措置

置をするために、現在の状態や通院している病院などについても詳しく尋ねます。通信指令員の問いかけには慌てず・はつきり・正確に答えてください。

●携帯電話での通報は注意を
携帯電話で通報するときは、通報者自身が現在地を分らない場合があります。付近の目標物や住所表示の看板を参考に通報してください。また、電波状態によって通報内容が聞き取りにくいことがあります。そのときは、場所を変えたり、近くの公衆電話などを使用してください。

間違えてかけたときは「間違えた」と一言を間違えて119番にかけたときに無言で切ると、通信指令員は緊急事態と判断し、呼び返して確認します。必ず「間違えた」ことを伝えてから電話を切ってください。

皆さんからの119番通報は、消防救急活動の貴重な情報源です。119番通報をするときは落ち着いて正確な通報を心掛けましょう。

▽問い合わせ先 消防本部通信指令課（本町、☎32・5101）

消防本部通信指令室では、皆さんからの119番通報の内容を聞いて、それぞれの現場に応じた消防車両を出動させています。

しかし、場所が分からなければ消防車両を出動させることができません。そこで皆さんにお願いです。119番通報をするときは、「火事」か「救急」か「救助」かを伝えた後、消防車両が出動できるように「住所」「目標物」を、そして、「状況」「自分の名前・電話番号」

ポイント は「場所の判明」

一刻も早い出動！

11月9日は
119番の日

命を救う電話

119番

弘前消防本部通信指令室への119番通報は年間で約1万件。今日も通信指令室には、助けを求める通報が寄せられています。

号」を正確に分かりやすく伝えてください。発生場所や災害状況の正確な情報が、消防隊や救急隊の迅速な到着につながります。

大切な命を救う！皆さんの「協力」が必要です



※通信指令室は見学できます。希望する人は消防本部通信指令課へお問い合わせください。

INTERVIEW

読み聞かせボランティア「しらゆり会」の皆さんにお話を伺いました



左から相馬房子さん、福田寿枝さん、佐藤弘子さん、福井千江子さん

- Q 読み聞かせが与える子どもへの影響には、どういうことが挙げられますか。
- A まず、集中力が付きますね。集中して人の話を聞けるというのはコミュニケーションの一番大事な部分です。人の話を聞くことで、自分も話ができますので。このおはなし会には、毎回来てくれる子どもたちもいて、そういう子たちは集中力があってきちんとお話を聞いています。ですから家庭でも、子どもに本を読んであげるといことは、とても大事なことです。
- また読み聞かせは、子どもを安心させます。よく、子どもは寂しいときに自分の部屋に引

きこもったりするというふうに言われていますが、そんなときでも親のところに来て、「本を読んで」と言える。これはコミュニケーションを取りたいという思いがあり、外に向けたアピールの仕方を知っているということなので、引きこもったりはしないと思うんです。そういう親子関係はとてもいいものですよ。

- Q 親が子どもに本を読んであげるときに心掛けることはありますか。
- A 子どもの反応を見ながら、自分も楽しんで読むことが大事ですね。また、子どもは同じ本を何回も「読んで」と言って持てきますが、子どもが「読んでほしい」と思っているうちは、それに応えてあげてください。親にとってはただのお話かもしれませんが、その親の発する声やリズムが子どもにとって心地よいものなのです。
- 自分が知っている本を読んでもらうことで子どもは「予測すること」を覚えていきます。「次はこうなる、次はこうなる」というふうになぞって、話の中で自分が知っていることを予測していくのですが、それがゆくゆくは知らないことを予測していく、いわゆる「考える力」につながっていくのではないのでしょうか。ですから知っているお話を何回も読んであげるとはすごく大事なことです。

弘前図書館で見つけた読み聞かせにオススメの絵本。



「ぐりとぐら」
中川李枝子：文 大村百合子：絵
福音館書店発行



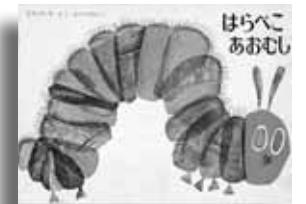
「めっきらもっきらどおんどん」
長谷川摂子：作 降矢なな：画
福音館書店発行



「おしゃべりなたまごやき」
寺村輝夫：作 長新太：画
福音館書店発行



「パパ、お月さまとって！」
エリック
カール：作
もりひさし：訳
偕成社発行



「はらぺこあおむし」
エリックカール：作 もりひさし：訳
偕成社発行

就職に向けたスキルアップを！

雇用機会が少ない地域で、雇用創出に取り組む市町村などを国が支援する地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）に、「弘前型『産業集積と観光振興』による雇用創出プラン」が採択されました。

今後は、弘前市雇用機会増大促進協議会（弘前市、中津、弘前商工会議所、弘前観光コンベンション協会、弘前市物産協会、弘前地区雇用対策協議会（構成）が主体となり、事業期間である平成22年度までの3年間に、人材育成、雇用創出に向けたセミナーの開催や事業を展開していきます（下表を参照）。セミナーは、市内に居住している事業主や求職中の人を対象に無料で開催します。で、ぜひ参加してください。開催日など、詳細は決まりしだい協議会ホームページや広報ひろさきに掲載します。

▽問い合わせ先 弘前市雇用機会増大促進協議会（☎32・6267、ホームページhttp://www.hirosaki-koyou.jp/）

I. 雇用拡大メニュー（事業主が対象）…新規創業、新分野への進出、事業の拡大など、地域における雇用機会の拡大を目指します。

事業名	事業内容
地元特産品商品開発マーケティング事業	マーケティング向上講習会 素材力向上講習会 販売力向上講習会 地元特産品の製造、販売にかかわる中小企業が、新商品開発や事業拡大などに取り組む際の問題を解決するための講習会です
野菜工場推進事業	産地直売野菜工場推進・マーケティングセミナー 安定生産・安定供給が可能な人工光を活用した植物工場での、野菜生産システムの栽培技術や品質管理、マーケティングなどのための人材を育成するセミナーです。
観光コンシェルジュ養成事業	フィルムツーリズムセミナー インバウンド観光セミナー 温泉旅館経営指導セミナー 映画やテレビなどのロケで円滑な撮影ができるようにサポートする人材を育成し、創業に向けた組織づくりを学ぶセミナーです 増加する韓国や台湾などの外国人旅行者が安心して観光できる環境づくりのため、観光関係者の語学の習得を支援するセミナーです 多くの観光客を受け入れるため、温泉旅館としてのおもてなしや経営知識を学ぶセミナーです

II. 人材育成メニュー（地域求職者や在職者が対象）…地域の人材ニーズなどを踏まえた能力開発や人材育成を目指します。

事業名	事業内容
地元特産品流通・販売促進事業	流通・販売システム活用セミナー 地元特産品の販路拡大と雇用創出に向け、Web市場などを活用した販売活路を見いだすためのセミナーです
光関連産業人材育成事業	組込ソフト開発人材育成事業 CAD / CAM 技術者人材育成事業 コールセンター人材育成事業 需要が大きく増えている組込ソフトを開発できる人材を育成する研修を実施します 不足している光関連産業の CAD / CAM 技術者を育成する研修を実施します 光通信技術を活用したコールセンターを誘致するための人材を育成する研修を実施します
観光産業人材育成事業	ホテル従業員人材育成セミナー 観光ガイド養成講座 観光サポート人材育成事業 新幹線新青森駅開業に向けて建設が進められているビジネスホテルや既存のホテルなどで、即戦力となる人材を育成するため、ホテルに従事を希望する求職者を対象にした専門分野のセミナーです 増加が見込まれる観光客の多種多様なニーズにきめ細やかに対応できる有料ガイドを養成する講座です 家族連れや高齢者などの観光客が安心して観光できるようにサポートできる人材を育成します

III. 就職促進メニュー（情報提供）…協議会から情報を提供し、地域求職者などの就職を促進します。

事業名	事業内容
協議会ホームページ事業	協議会ホームページ作成事業 市内での就職を促進するため、地域求職者などへセミナーや研修の情報を提供します

流通・販売システム活用セミナー（ネットショップ開業セミナー）

- ▽とき 11月18日～12月16日の毎週火曜日、午後6時～9時（全5回）
- ▽ところ 弘前商工会議所（上鞆師町）301会議室
- ▽内容 ネットショップの立ち上げとその運営に関する知識の習得
- ▽対象 弘前市内に居住する求職中の人や新規事業を検討中の人で、インターネット販売を行いたいと考えている人＝40人（先着順）
- ▽問い合わせ・申込先 11月14日までに、弘前商工会議所（☎33・4111、ホームページhttp://www.hcci.or.jp/）へ。

詳しい内容が
決まりました



地元産品盛りだくさん！

ふじフェスタ2008・文化祭

ふじフェスタ2008では、役場駐車場・特設会場で展示即売を行います。地場産品はもちろんのこと、さまざまな分野からの出店を予定しています。どんな出店があるかは来てからのお楽しみ！

藤崎町

津軽
広域
連合
津軽の
話題満載

また、文化祭では、藤崎町文化協会や各種団体による作品展示が行われるほか、藤崎町文化センターのホールで芸能発表会も行われ、芸術の秋を彩ります。

そのほかにもさまざまなイベントが盛りだくさん。来て、見て・楽しいふじフェスタ2008・文化祭へぜひ足を運んでみてください。

▽とき 11月22日（土）の午前9時半～午後4時と23日（日）の午前9時～午後3時半
※時間はいずれも予定です。詳しくはお問い合わせください。

▽ところ 藤崎町役場前駐車場、藤崎町文化センター（どちらとも藤崎町西豊田1丁目）
▽問い合わせ先 藤崎町秋まつり実行委員会（藤崎町企画課内、☎75・3111）

市町村イベントカレンダー

と き	イベント名	内 容	問い合わせ先
11月 8日・9日	収穫感謝祭&シクラメン市	約1万鉢のシクラメンを展示販売！そのほか、たくさんのイベントがめじろ押しです	田舎館村産業課（☎58・2111）
15日・16日	黒石りんごまつり	りんごを中心としたまちづくりを推進するために、りんごの即売会や市内商業者による産業展を開催	同実行委員会（黒石市商工観光課内、☎52・2111）
16日	りんごと米の収穫祭	親子りんご皮むき大会や農産物加工品販売など	弘前市りんご農産課（☎82・1636）
16日	第33回大鰐町文化祭（芸能発表会）	大鰐町文化協会会員などによる各種芸能発表会	大鰐町文化協会（三ツ橋志朗さん、☎47・6689）
16日	染め物講習会	古代米を使ってハンカチなどの染め物体験をしてみませんか	田舎館村総合案内所「遊稲の館」（☎58・4689）
22日・23日	2008岩木文化祭	紅白対抗かくし芸大会、子ども芸能発表、作品展示など	中央公民館岩木館（☎82・3214）
22日・23日	ふじフェスタ2008・文化祭	地場産品などのさまざまな出店のほか、芸能発表会、展示品などが楽しめます	藤崎町秋まつり実行委員会（藤崎町企画課内、☎75・3111）
28日～30日	平川市民文化祭2008	市民による歌や踊りなどの舞台発表や個性豊かな作品展示など	平川市生涯学習課（☎44・1221）
29日・30日	第35回板柳町民祭	町民の活動や成果を披露。農産物などの即売会や各種体験コーナーもあります	板柳町総務課（☎73・2111）
12月 1日～2月28日	津軽ひろさき冬の旅	津軽三味線の演奏体験や、文化財のライブアップなどイベント満載	弘前市立観光館（☎37・5501）
21日	正月飾り講習会	古代米を利用した正月飾り作り体験はいかがですか	田舎館村総合案内所「遊稲の館」（☎58・4689）

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、介護認定及び障害程度区分判定審査・各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。



堀越城跡発掘調査現地説明会

10月11日

10月11日、堀越城跡（堀越）で、平成20年度の発掘調査成果が一般公開されました。

堀越城跡は、津軽為信が津軽統一の拠点とした城の跡で、今回公開されたのは、二の丸南側外堀と西側外堀の2か所の調査区と、そこから出土した陶磁器、漆碗、下駄などのうちの一部。当日は、市内外から約120人が集まり、およそ400年前の遺構と生活に思いをはせていました。

岩木川ふれあいフェスタ

10月13日

10月13日、「川と親しみ、環境と防災を考えよう！」をテーマに、岩木川ふれあいフェスタが開催されました。

会場となった弘前地区河川防災ステーションと水辺プラザ（ともに和田町）では、河川清掃や丸太切り、火起こし体験が行われたほか、「岩木川の恵み交流会」と題して近隣市町村が特産物を販売。当日は好天に恵まれたこともあり、多くの家族連れでにぎわいました。

また、岩木川がはんらんした際の浸水想定区域を示したハザードマップや、過去に起きた災害のパネルが展示されたブースでは防災グッズも紹介され、来場者たちは日ごろの防災への意識を高めていました。



津軽の食と産業まつり

10月17日～19日

10月17日から19日までの3日間、克雪トレーニングセンター（豊田2丁目、弘前市運動公園内）で、地元生産品や生活関連商品を紹介する「津軽の食と産業まつり」が開催されました。会場内には友好都市である北海道斜里町・群馬県太田市のほか、物産交流都市の岡山県岡山市の物産コーナーもあり、大勢の来場者が訪れ商品を買求めていました。

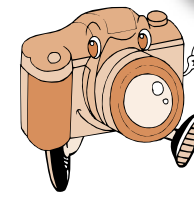
また、和菓子作り体験・そば打ち体験などのイベントにも人気が集まっていました。



まちの話題を写真で紹介します。

まちの話題

弘前写真館



第1回弘前スポレク祭

10月12日・13日

山の中腹が紅葉で色づき始めた10月12日・13日の2日間、昨年本県で実施された第20回全国スポレク祭をきっかけに、市民の健康増進やスポーツによる豊かな地域づくりを目的に独自のスポレク祭として、第1回弘前スポレク祭が開催されました。

弘前市運動公園（豊田2丁目）を主会場に、約1万人が参加し、少年少女野球教室などのスポーツ教室、フライングディスクなどのニュースポーツゲームやレクリエーション、健康チェックコーナーなどさまざまなイベントが行われました。

両日ともに晴天に恵まれ、絶好のスポーツ日和となり、午前9時から開始された競技・イベントでは、大勢の親子連れや高齢者らが屋内外のスポーツで体を動かし、さわやかな秋空の下でいい汗をかいていました。

イベントやゲームの中には、参加しながらポイントを集め、獲得したポイント数に応じて豪華賞品が当たる抽選券がもらえる種目もあり、「30ポイントゲットしたよ」「次はどれに挑戦しようかな」と楽しそうに競技参加している子どもたちの声が響いていました。



フリークライミング



少年少女野球教室



ペタンクゲーム

岩木文化センター自主事業

2008岩木あそべるのクリスマス

「暮らしはすてきな贈り物」
あったか家族とわくわく未来

～はせくらみゆき
講演&アートワークショップ～

アートセラピストのはせくらみゆきさん
による講演と親子で楽しめるアートワーク
ショップを開催します。

【講演】

▽とき 12月7日(日)
午後1時半～3時

※開場は午後1時

▽定員 550人

▽参加料 無料

【アートワークショップ】

▽とき 12月7日(日)
午前10時半～正午

※開場は午前10時

▽対象 おおむね3歳～小学生とその保
護者=100組

▽参加料 1家族500円(材料費等として)
～共通事項～

▽ところ 岩木文化センター「あそべる」
(賀田1丁目)

▽問い合わせ・申込先 11月28日までに、
岩木文化センター自主事業実行委員会(賀
田1丁目、中央公民館岩木館内、☎82・
3214、ファクス82・3426)へ。

▽その他 希望する人には無料で託児・手
話通訳を用意します。11月28日までに
予約を。車いす利用者も参加できます。

■同時開催「はせくらみゆきアート作品&
手づくりおもちゃ展」

12月6日…午前10時～午後5時／岩木
図書館(賀田1丁目)

12月7日…正午～午後4時／岩木文化セ
ンターミニシアター及びロビー

住生活総合調査

12月1日現在で住生活総合
調査が行われます。
この調査は、10月に行われ
た住宅・土地統計調査対象世
帯から抽出された約110世
帯の、住生活全般の実態や満
足度を調査するものです。対
象となる世帯には、11月下旬
から調査員が訪問します。
で、ご協力をお願いします。
▽問い合わせ先 建築住宅課
住宅係(☎内線415)

- 弘前市役所 ☎35・1111
- 岩木庁舎 ☎82・3111
- 相馬庁舎 ☎84・2111

郷土文学館スポット企画展
津軽を訪れた作家たち

郷土文学館では、後期ス
ポット企画展として、森鷗外、
西村京太郎など、弘前・津軽
を訪れ、文章をあらわした作
家たちを紹介します。

▽とき 11月8日(土)
午前9時半～午後3時
▽ところ 金木農場(五所川
原市金木町芦野)
▽内容 ①試食コーナー
(金木農場産米、藤崎農場産
リンゴ) ②農場生産物販売
コーナー(米、牛肉、金木農
場産リンゴ、野菜等、藤崎
農場産) ③焼き肉コーナー
(金木農場産「弘大アップル
ビーフ」を使用) ④弘大生
協コーナー(日本酒「弘前大
学」、弘大グッズ) ⑤実演・
販売コーナー(もちつき実演
販売、アップルパイ販売、飲
み物等販売)
▽問い合わせ先 弘前大学金
木農場(☎五所川原0173・
53・2029、Eメール
jrn532029@cc.hirosaki-u.
ac.jp)

弘大金木農場「農場祭」

弘前大学が取り組む農業の
研究活動について広く紹介す

11月1日の「計量記念日」
にちなみ、正確な計量の大切
さを知ってもらうため、楽し
いイベントを開催します。
目分量で重さを当てる「ぴ
ったり計量大会」や、計量に
関するパネル展示などを行
います。多数の参加をお待ちし
ています。

計量記念日イベント

成年後見制度の
講演会・相談室

シンフォニー「成年後見制
度を考える会」が、公益信託
青森県ボランティア基金の助
成で、成年後見制度について、
税理士を講師に迎えて講演会
を開催します。また、専門家
による相談室を開設します。

▽とき 11月9日(日)
午後1時半～3時半
▽ところ 弘前文化センター
(下白銀町) 1階会議室
▽内容 成年後見制度・権
利擁護
▽講師 大坂昇三さん(税
理士)
▽受講料 無料
▽相談室 無料
▽とき 11月16日(日)
午後1時半～4時
▽ところ 市民参画センター
(元寺町) 3階第2活動室
▽相談料 無料
※なるべく予約をお願いしま

ヒロガク福祉創造
フォーラム

現在、福祉が抱える課題を
適切にとらえ、地域社会の福
祉向上のために、わたしたち
が取り組むべき方向と方法を
見いだします。

▽とき 11月9日(日)
午前9時半～午後3時
▽ところ 弘前学院大学(稔
町)
▽内容 シンポジウム「現
在、社会福祉に何が問われて
いるか」／ワークショップ「現
場の人といっしょに、社会福
祉の古典・名著を読む」／研
究発表
▽参加料 無料
▽問い合わせ先 弘前学院大
学社会福祉教育研究所(☎
34・5311)

都市景観フォーラム

第18回目を迎える今年の都
市景観フォーラムは、「趣の
ある建物と景観」がテーマで
す。

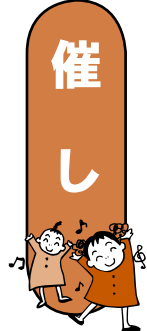
障害者週間記念大会
福祉・教育懇談会

弘前地区心身障害児者父母
の会連合会が、障害のある人
もない人も共に理解し合うこ
とを目的に開催します。

▽とき 11月20日(木)
午前9時50分～午後2時半
▽ところ 身体障害者福祉セ
ンター(八幡町1丁目)体育館
▽内容 基調映像／記念講
演：講師・渋谷伯龍さん／パ
ネルディスカッション
▽参加料 無料
▽問い合わせ・申込先 11月
13日までに、身体障害者福祉
センター(☎36・4521、
ファクス32・1144)へ。

第14回弘前市場まつり

▽とき 11月23日(日)
午前7時45分～11時半
▽ところ 弘前水産地方卸売
市場(末広1丁目、弘果総合
地方卸売市場内)
▽内容 市民参加の模擬競
り、野菜・果物の詰め放題、
水産物・野菜・花などの即売
会
▽問い合わせ先 弘前市場ま
つり実行委員会(☎27・23
45)



るために開催します。
▽とき 11月8日(土)
午前9時半～午後3時
▽ところ 金木農場(五所川
原市金木町芦野)
▽内容 ①試食コーナー
(金木農場産米、藤崎農場産
リンゴ) ②農場生産物販売
コーナー(米、牛肉、金木農
場産リンゴ、野菜等、藤崎
農場産) ③焼き肉コーナー
(金木農場産「弘大アップル
ビーフ」を使用) ④弘大生
協コーナー(日本酒「弘前大
学」、弘大グッズ) ⑤実演・
販売コーナー(もちつき実演
販売、アップルパイ販売、飲
み物等販売)
▽問い合わせ先 弘前大学金
木農場(☎五所川原0173・
53・2029、Eメール
jrn532029@cc.hirosaki-u.
ac.jp)

▽とき 11月9日(日)
午後1時～3時
▽ところ 中三弘前店(土手
町) 1階ガレリア(蓬莱橋側)
▽参加料 無料
▽問い合わせ先 市民生活課
(☎内線340)

す。秘密は守られます。
■問い合わせ・申込先 シン
フォニー「成年後見制度を考
える会」(篠崎さん、☎35・
3678)



11月の催し

緑の相談所

- 【展示会】
●さつき愛好会秋季展
10月30日～11月3日
●常緑樹木展 22日～26日
【講習会】
●庭木の雪囲い実習
15日、午後1時半～3時半
【弘前城植物園】
…今月見られる花】
花…チャノキ、十月桜、野菊の仲間など
実…サンシュユ、カリン、マルメロなど
紅葉…モミジ、ニシキギ、ドウダンツツジなど
●休館日 10日・17日・25日
●問い合わせ先 緑の相談所 (☎33・8737)
※弘前城植物園、藤田記念庭園、弘前城史料館は11月23日で終了し、来春まで休園になります。

がん診療市民公開講座

- 弘前大学医学部附属病院が、「がんの一次予防と二次予防」をテーマに開催します。
- ▽とき 11月21日(金) 午後6時～8時半
- ▽ところ 弘前文化センター(下白銀町) 1階大ホール
- ▽内容 「がんの予防について」：講師・中路重之さん(弘前大学大学院医学研究科社会医学講座教授)／「大腸がんの早期発見と治療」：講師・福田眞作さん(弘前大学医学部消化器・血液・膠原病内科教授)
- ▽対象 市民
- ▽入場料 無料
- ▽問い合わせ先 弘前大学附属病院医事課医事グループ医事担当 (☎39・5215)

教室・講座



第3回ひとやさしい社会推進セミナー

- 異なる環境で育った男女が、共に支え合い作り上げていく家庭は、小さな男女共同参画社会です。
- 「クジラの島の少女」(ウイティ・イヒマエラ著)の物語を翻訳した澤田真一さんとサワダ・ハンナ・ジョイさん夫妻を講師に迎え、「クジラの島の少女」の映画を交えながら、若くして結婚した2人が乗り越えてきたこれまでのお話を伺います。夫婦での参加も大歓迎です。
- ▽とき 11月8日(土) 午後1時半～4時半
- ▽ところ 市民参画センター(元寺町)
- ▽テーマ 「人と人が支え合うこと」浮くも沈むも2人しだい」
- ▽講師 澤田真一さん(弘前大学人文学部准教授)、サワダ・ハンナ・ジョイさん(弘前大学国際交流センター准教授)
- ▽定員 市民 40人

弘大公開講座「デジカメ写真を編集しよう」

- フリーソフト(無料で配布されているソフトウエア)のGIMPを使用して、デジタルカメラで撮影した写真の編集技術を学びます。
- ▽とき 11月8日(土) 午後1時半～4時
- ▽ところ 弘前大学総合情報処理センター(文京町)
- ▽対象 小学校高学年以上 20人
- ▽参加料 無料
- ▽問い合わせ 申込先 11月6日までに、電話またはEメール(参加者氏名・住所・電話番号を記入)で、弘前大学総合情報処理センター(☎39・3721、Eメール koukaikouza@cc.hirosaki-u.ac.jp)へ。
- 現代セミナーひろさき
- テーマは「災害と防災を考

再就職準備セミナー

- 再就職を希望し、再就職に向けて準備をしている人を対象に開催します。
- ▽とき 11月18日(火) 午前9時半～午後0時半
- ▽日程と内容 ①11月13日「近世津軽の災害史」被害対策と教訓」：講師・長谷川成一さん(弘前大学人文学部教授) ②11月15日「自分の身は自分で守る」緊急事態発生時の危機管理術」：講師・大泉光一さん(青森中央学院大学経営法学部教授) ③11月20日「青森県の防災対策」：講師・青森県防災消防課職員 ④11月27日「災害ボランティアの経験から」：講師・高田敏幸さん(NPO法人岩木山自然学校代表)
- ※①③④は午後6時半～8時、②は午後2時～3時半。
- ▽ところ 弘前文化センター(下白銀町) 3階視聴覚室
- ▽定員 50人(先着順)
- ▽受講料 無料
- ▽申込先 中央公民館(弘前文化センター内、☎33・6561、ファクス33・4490)
- ※おおもり県民カレッジの単位認定講座です。

環境整備センターの教室

- 【冬の草木染め教室】アカネを煮出した汁を使って絞り染めをします。染まるまでの待ち時間には、端切れとはがきを使ってオリジナルはがきを作ります。
- ▽とき 11月23日(日) 午前10時～午後3時半
- ▽ところ 弘前地区環境整備センタープラザ棟(町田字筒井)
- ▽講師 水田久美子さん(くみこ工房)
- ▽定員 小学校高学年以上 20人
- ▽参加料 無料

国際交流ふれあいパーティー

- 「ともだちの輪を世界まで」をテーマに、市内の外国人とゲームやレクリエーションを楽しむパーティーです。
- ▽とき 11月24日(月・振替え休日)、午後2時～4時
- ▽ところ 弘前文化センター(下白銀町) 2階大会議室
- ▽内容 タイの音楽やダンス、タイのお菓子を食べながらの交流、各種ゲームなど
- ▽参加料 一般 300円／小学生以下 100円
- ※お菓子・飲み物代として。
- ▽問い合わせ 申込先 中央公民館 (☎33・6561)

ブルで体づくり教室

- 昔のこと：講師・佐藤ツリさん
- ▽対象 市内在住の60歳以上の老人
- ▽受講料 無料
- ▽問い合わせ 申込先 電話で中央公民館(☎33・6561)へ。
- ▽とき 12月1日・8日・15日・22日(計4回)、午後1時～2時
- ▽ところ 温水プール石川(小金崎字村元)
- ▽内容 水中での体操、ストレッチ、ウォーキング
- ▽対象 市民 20人
- ▽参加料 無料(スポーツ安全保険に加入を)
- ▽申し込み方法 往復はがき

総合学習センターのパソコンチャレンジ講座

- に、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、11月12日までに河西体育センター(〒036・8316、石渡1丁目19の1)へ。
- ※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。
- ▽問い合わせ先 河西体育センター(☎38・3200)
- ※おおもり県民カレッジの単位認定講座です。
- 【カード作成講座】
- ▽とき 水曜コース 12月3日・10日／金曜コース 12月5日・12日
- ※時間はいずれも午前10時～

その他



全国青少年健全育成

強調月間

- 11月は「全国青少年健全育成強調月間」です。
- 未来を担う子どもたちが健康やかに育つことは、私たち共通の願いです。
- 命を大切にする心や社会のルール、他人を思いやり感謝することの大切さなど、家庭や地域で積極的に伝えていきましょう。
- ▽問い合わせ先 少年相談センター(市役所2階、☎35・7000)

プラネタリウム

11月



弘前文化センター

【一般投影】

★テーマ 天馬ペガススと二人の勇者

★とき 平日＝午後1時半、午後3時／日曜日、祝日＝午前10時半、午後1時半、午後3時（各45分間投影）

※土曜日は“くつろぎプラネ”と“みんなで星空散歩”を投影。

★休み 毎週火曜日、10日

【くつろぎプラネ】

★テーマ プライド

★とき 毎週土曜日、午後1時半と午後3時（各45分間投影）

★観覧料（一般投影・くつろぎプラネ共通）

一般＝240円

高校生＝120円

※60歳以上の市民、市内の小・中学生や障害者、外国人留学生は無料。

【みんなで星空散歩】

★テーマ 秋から冬にかけての星達

★とき 毎週土曜日、午前10時半～11時

★観覧料 無料

★問い合わせ先 中央公民館（☎33・6561）



- 弘前市役所 ☎35・1111
- 岩木庁舎 ☎82・3111
- 相馬庁舎 ☎84・2111

病院ボランティア募集

弘前大学医学部附属病院では、患者さんの案内やお手伝いをする病院ボランティアを募集しています。

▽活動内容 外来に関すること（来院した患者さんの診療手続きや院内の案内／入院する患者さんの荷物の運搬や病棟への案内）

▽活動時間（平日のみ） 午前8時半～11時半

源泉徴収義務者対象の年末調整等説明会

平成20年分の年末調整関係資料は、10月下旬に税務署から源泉徴収義務者に郵送されます。同封された説明会の日程を確認して出席してください。

▽とき 11月17日（月）：午前の部 10時～正午／午後の部 10時～11時半

下水道責任技術者・配管工講習会

更新講習は、有効期限が平成21年3月31日までの人が対象になります。忘れずに受講してください。

【責任技術者更新講習】

▽とき 平成21年1月22日、午前10時半～午後2時（指定された時間）

▽ところ 駅前市民ホール（駅前町、ジョッパル4階）

▽受講料 7000円

【配管工更新講習】

▽とき 平成21年1月23日、午前10時半～午後2時（指定された時間）

▽ところ 駅前市民ホール

▽受講料 5000円

【配管工認定講習】

▽とき 平成21年1月21日、午後2時～

▽ところ 市立観光館（下白銀町）2階研修室

▽資格 1年以上の実務経験がある人

▽受講料 7000円

■問い合わせ・申込先 11月28日～12月16日に、下水道総務課（市役所5階、☎内線434）へ。

※申込書は11月28日から同課で配布します。

保健衛生座談会

弘前市町会連合会では、市内を巡回して保健衛生座談会を開催しています。

環境や保健に関することで、日ごろ疑問に思っていることや、取り組みについてなどについて、気軽に話してみませんか。どなたでも参加できます。

▽日程 左表を参照

▽講師 市職員

▽問い合わせ先 弘前市町会連合会事務局（☎内線346）

実施日	地区	開催会場
11月10日（月）	時敏	弘前市社会福祉センター（宮園2丁目）
〃 12日（水）	北	宮園団地第三集会所（青山5丁目）
〃 14日（金）	下町	勤労青少年ホーム（五十石町）
〃 18日（火）	文京	中野集会所（中野2丁目）
〃 25日（火）	豊田	東部公民館（末広4丁目、総合学習センター内）
〃 27日（木）	和徳	野田集会所（野田1丁目）
1月16日（金）	高杉	北辰学区高杉ふれあいセンター（独狐字山辺）
〃 19日（月）	船沢	船沢公民館（折笠字宮川）

時間は各会場とも午後1時半から

児童虐待防止推進月間

「助けての 小さなサイン 受け止めて」（平成20年度児童虐待防止推進月間標語）

11月は、児童虐待防止推進月間です。児童虐待は、社会全体で解決しなければならぬ重要な課題です。そのためには虐待の発生予防、早期発見、早期対応が必要です。

児童虐待が疑われる場合は、次の機関に連絡をお願いします。

▽連絡先

○市児童家庭課子育て支援係（☎内線368）

○弘前児童相談所（☎36・7474）

○弘前警察署（☎32・0111）

○各地区の主任児童委員

■児童虐待防止推進月間についての問い合わせ先 児童家庭課子育て支援係

いきいきシルバー交通安全強調月間

今の時期は日没が早く、夕暮れから夜間にかけて高齢者の交通事故が多発する傾向にあります。県では、高齢者を交通事故から守ることを目的

に、「いきいきシルバー交通安全強調月間」を実施します。

▽期間 11月1日～30日

▽運動の重点

○高齢者の交通安全に関する県民の意識啓発

○高齢者に対する交通安全教育の推進

○高齢歩行者の交通事故防止

【ドライバーの皆さんへ】

高齢者に対する思いやり運転をするとともに、夕暮れ時は歩行者や自転車を早期に見するためにライトを早めに点灯し、交通事故の防止に努めましょう。

■11月の早め点灯時刻は“午後3時”

【高齢者の皆さんへ】

交通ルールやマナーを守って交通事故に遭わないように気を付けましょう。

▽問い合わせ先 市民生活課 安全安心対策担当（☎内線214・320）

他地区へのごみの持ち込みはやめましょう

ごみ集積所は、その地区の住民によって管理されています。そのため、他地区からごみが持ち込まれると、その地区の住民の負担が増え、迷惑が掛かることになります。

母子・寡婦福祉資金

貸付金の予約を受け付けます。

■対象 母子・寡婦家庭の児童・生徒で、来春、①小学校から大学までの各学校に進学する人 ②知識や技能の習得を希望する人

※申請には連帯保証人が必要です。

■貸付限度額 左表参照

■貸付時期 就学支度資金Ⅱ3月末／修学資金・修業資金Ⅱ入学確認後

■償還 無利子、据え置き期間は修学終了後6か月 修学資金Ⅱ20年以内（専修学校の一般課程は5年以内）／修業資金Ⅱ6年以内／就学支度資金Ⅱ20年以内（修業施設と専修学校の一般課程は5年以内）

■申請期間 11月4日～平成21年1月30日

※期間内に申請しないと、貸付金交付が4月以降になる場合があります。修学資金は日本学生支援機構などの貸付制度利用者を除きます。

■申請先 県中南地域県民局地域健康福祉部（蔵主町、弘前合同庁舎1階、☎35・1622）

資金の種類	貸 付 限 度 額			
	学 校 な の の 種 別	自宅通学	自宅外通学	
就学支度資金	小学校 39,500 円 中学校 46,100 円 ※所得税非課税の場合貸付			
	公立の高校・高等専門学校・ 専修学校（高等、一般課程）・ 修業施設（中卒者）	75,000 円	85,000 円	
	私立の高校・高等専門学校・ 専修学校（高等課程）	410,000 円	420,000 円	
	国公立の大学・短期大学・ 専修学校（専門課程）	370,000 円	380,000 円	
	私立の大学・短期大学・専 修学校（専門課程）	580,000 円	590,000 円	
	修業施設（高卒者）	90,000 円	100,000 円	
	修学資金（月額）	高等学校	国公立	18,000 円
専修学校（高等課程）		私 立	30,000 円	35,000 円
高等専門学校		国公立	21,000 円	22,500 円
		私 立	32,000 円	35,000 円
短期大学		国公立	45,000 円	51,000 円
専修学校（専門課程）		私 立	53,000 円	60,000 円
大 学		国公立	45,000 円	51,000 円
		私 立	54,000 円	64,000 円
専修学校（一般課程）		29,000 円		
修業資金	50,000 円（月額）			

第2回弘前音楽祭

市民会館音楽鑑賞事業

市民会館では、音楽鑑賞事業として、次のとおりゼミナールや演奏会を開催します。

【弦楽器無料体験コーナー】

弘前市出身のチェロ奏者三戸正秀さんと弘前交響楽団メンバーが、弦楽器に触れたことのない市民を対象に行います。

※楽器は市民会館で用意。

▽と き 11月29日(土)、午前11時～正午

▽ところ 市民会館(下白銀町)大ホール2階ホワイエ

※事前の申し込みは不要。当日、会場においでを。

【NHK交響楽団メンバーによるドリームゼミナール】

三戸正秀さんを中心としたNHK交響楽団のメンバーが、地域音楽家の技術力向上と弦楽器奏者の育成を図るため、課題曲をヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの各パートごとに指導します。

▽と き 11月29日＝正午～午後5時／11月

30日＝午前9時半～正午

▽ところ 市民会館大ホールほか

▽課題曲 モーツァルト作曲「ディベルティメント」Kv.136 二長調

▽受講料 無 料

▽申込先 11月21日までに、市民会館(☎32・3374)へ。

【音楽ネットワーク弘前合同コンサート】

音楽ネットワーク弘前、NHK交響楽団メンバーによるアンサンブル、ドリームゼミナール受講生が合同で演奏会を行います。

▽と き 11月30日、開場＝午後0時半／開演＝午後1時

▽ところ 市民会館大ホール

▽入場料 500円

▽前売り券取扱所 市民会館、駅前市民ホール(駅前町、ジョッパル1階、市民課駅前分室内)、中央公民館岩木館(賀田1丁目)、中央公民館相馬館(五所字野沢)、文化会館(下白銀町、弘前文化センター内)、日弘楽器(土手町)

■問い合わせ先 市民会館(☎32・3374)

公売のお知らせ

公売は、市税などの滞納処分により差し押さえた財産を売却し、その代金を滞納市税などに充てるものです。

【不動産公売】

▽入札日時 11月18日(火)

※当日は、午前10時～10時半受け付けし、入札についての説明を予定しています。

▽ところ 市役所2階第1会議室

※公売対象不動産等については、市役所東側の掲示板に公告しています。

▽問い合わせ先 収納課整理係(市役所2階、窓口204、☎内線237・394)

休日・夜間納税相談

収納課では、平日や日中に納税相談ができない人のために、休日・夜間納税相談日を設けています。

納期限までに納付できない特別な事情がある人は未納のままにせず、ぜひ相談においでください。なお、この日は電話での相談や市税などの納付もできます。

▽夜間納税相談 11月17日(20日の午後5時15分～7時半)

▽休日納税相談 11月23日の午前9時～午後4時

※毎月第4日曜日は休日納税相談日です。

▽問い合わせ・受付場所 収納課(市役所2階、窓口205、☎内線236・391・403)

3/休日夜間：☎32・1085、32・1096、35・1269)

緑化推進活動に助成金

平成21年に市民団体などが自主的に行う森林整備や緑化活動、青少年団体による緑化教育活動などの非営利活動に対し、「緑の募金」を活用した助成金を交付します。

▽実施場所 弘前市内(ただ

し、緑化教育活動の場合は市外でも可能)

▽対象経費 苗木・種子・支柱・肥料などの緑化資材購入費(ただし、緑化教育活動の場合には交通費、講師謝礼を含む)

▽助成額 15万円を上限とし、対象経費の全額

▽問い合わせ・申込先 12月26日までに、弘前市緑化推進委員会事務局(岩木庁舎2階、農村整備課管理係内、☎82・1637)へ。

個別労働紛争解決制度

個々の労働者と事業主との間の解雇、配置転換、賃下げなど労働関係のあらゆる紛争を対象に、次の制度を無料で利用できます。

○総合労働相談コーナーでの情報提供・相談

○青森労働局長による助言・指導

○青森紛争調整委員会によるあっせん

▽問い合わせ先 青森労働局総務部企画室(☎青森017・734・4212、ホームページ<http://www.aomori.ph.go.jp/seido/seido01.html>)／弘前総合労働相談コーナー(南富田町、弘前労働基準監督署内、☎33・6411)

「つておきの」

津軽大賞 コンテスト

わたしたちの住む「ふるさと津軽」の素晴らしさについて相互に理解を深め、人々に伝えていくことを目的に開催します。

▽部門 ①写真 ②川柳

▽テーマ ふるさと再発見！

※地域の自然、祭り、伝統、史跡、風習、日常の風景など、「ふるさと津軽」の姿を作品にして応募してください。

▽応募資格 津軽広域連合構成8市町村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)に在住の人

※年齢・経験等は問いません。

▽応募条件

●応募作品は、構成市町村にちなんだものに限りません。

①写真Ⅱ構成市町村内で撮影された作品

②川柳Ⅱ構成市町村それぞれの特色や風習等を交えた句

●作品は未発表のものに限り

ます。また、他のコンテスト

等との二重投稿はご遠慮くだ

さい。

建築確認申請等手数料の改正について

建築基準法改正による審査の厳格化・複雑化などに伴い、建築確認申請等の手数料が平成21年1月1日から左表のとおり改正になります。

▽問い合わせ先 建築指導課建築指導係(市役所3階、窓口353、☎内線418)

区 分	床 面 積 等	確認申請	中間検査	(円)	
				完了検査なし	完了検査あり
建築物	30㎡以内のもの	8,000	14,000	15,000	15,000
	30㎡を超え100㎡以内のもの	15,000	18,000	20,000	19,000
	100㎡を超え200㎡以内のもの	23,000	23,000	27,000	25,000
	200㎡を超え500㎡以内のもの	30,000	32,000	36,000	34,000
	500㎡を超え1,000㎡以内のもの	53,000	51,000	58,000	54,000
	1,000㎡を超え2,000㎡以内のもの	74,000	66,000	76,000	70,000
	2,000㎡を超え10,000㎡以内のもの	210,000	140,000	170,000	160,000
	10,000㎡を超え50,000㎡以内のもの	340,000	230,000	260,000	250,000
建築設備	50,000㎡を超えるもの	660,000	460,000	530,000	520,000
	小荷物専用昇降機以外	13,000	—	19,000	—
	小荷物専用昇降機以外(計画変更)	7,000	—	—	—
	小荷物専用昇降機	6,000	—	12,000	—
工作物	小荷物専用昇降機(計画変更)	4,000	—	—	—
	工作物	12,000	—	13,000	—
工作物	工作物(計画変更)	6,000	—	—	—

- 建築物の計画変更確認申請手数料は、変更に係る床面積の2分の1で算定。
- 全体計画認定申請手数料及び全体計画変更認定申請手数料は、建築物の確認申請手数料と同額。
- 構造計算適合性判定を求めなければならない建築物については、確認申請手数料に構造判定手数料を別途加算。

●応募作品の著作権及び著作権は津軽広域連合に帰属することとします。

●応募作品は返却しません。

●応募者の個人情報については、当コンテスト以外では使用しません。

【写真部門】

●応募作品のサイズは次のとおり(組写真は不可)

フィルムⅡカラープリント、L判サイズⅡ四つ切りサイズデジタルⅡフィルムと同サイズ(ただしプリンターから出力する場合はA4サイズ可)

●画像を合成・加工した作品は失格とします。

●肖像権等、第三者の権利を侵害しないよう十分配慮してください。

●入賞作品については、フィルム写真はネガ(またはポジ)、デジタル写真は画像データ(JPEG等)を指定日まで提出してもらいます。

▽応募点数 ①、②共に1人3作品まで

▽申し込み方法

①写真Ⅱ作品の題名、撮影場所、撮影日と応募者の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を明記した用紙を作品の裏面に貼付して郵送を。

②川柳Ⅱはがきに応募作品と、その句を思いついた時の

様子や心情などを書き添え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を明記して郵送してください。

▽応募締切 平成21年1月16日(金)

※当日消印有効

▽各賞(部門ごとに決定)

最優秀賞Ⅱ各1点(賞状、商品券3万円)

優秀賞Ⅱ各2点(賞状、商品券2万円)

入選Ⅱ各8点(賞状、商品券1万円)

※受賞者には、副賞として市町村特産品詰め合わせセットを差し上げます。なお、入賞者への通知は平成21年2月上旬を予定しています。

▽作品発表等 受賞作品は、平成21年3月発行の津軽広域連合だより及び津軽広域連合ホームページで発表します。

また応募作品は、今後、津軽広域連合で作成する印刷物等に使用し、圏域PRに活用します。

■問い合わせ・応募先 津軽広域連合「つておきの津軽大賞コンテスト」係(〒036・8276、弘前市大字樋の口町260の4、☎39・7200、ホームページ<http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/>)

健康ですか

弘前市保健センター
(野田2丁目)
☎ 37・3750

検診の受診を

4月1日から、市が行う基本健康診査は特定健康診査に変わりました。詳しくは、加入している各医療保険者へお問い合わせください。

セット検診、女性の健康診査は、受診希望日の1週間前までに電話で弘前市保健センターへ申し込んでください。

なお、市の各種検診は、年度内(4月1日～3月31日)に1回受診できます。

【セット検診】

▽とき 11月10日・13日・17日・19日・25日・28日・29日・12月4日・8日(11月28日は女性のみのみ)

▽対象 40歳以上の市民(職場で受診できる人を除く)

【指定医療機関での検診】

▽胃・大腸・前立腺がん検診・骨密度検診・結核検診は、弘前市保健センターのほか、市の指定医療機関でも受診できます。希望する場合は、直接指定医療機関へお問い合わせください。

※市の指定医療機関や検診などの料金は「健康と福祉」ごみ」で確認するか、弘前市保健センターへお問い合わせください。

乳幼児の健康診査

母子健康手帳を持参してください。場所は弘前市保健センターで、料金は無料です。

【4か月児・7か月児】
各指定医療機関での個別検診です。対象児には通知します。

【1歳6か月児】

▽とき 11月19日・20日
▽受付 午後0時半～1時半
▽対象 平成19年5月生まれ

【3歳児】

▽とき 11月5日・6日
▽受付 午後0時半～1時半
▽対象 平成17年4月生まれ

【1歳児歯科】

▽とき 11月12日・13日
▽受付 午後0時半～1時半
▽対象 平成19年11月生まれ

【2歳児歯科】

各指定歯科医療機関での個別検診です。対象児(平成18年5月生まれ)には通知します。

定期予防接種

定期予防接種を受けるときは、「予防接種と子どもの健康」をよく読み、予防票に記入後、母子健康手帳と一緒に持参してください。料金は

こころの健康相談



弘前市保健センターでは、本人や家族の心の悩みについて、保健師が面接して相談に応じています。相談内容は秘密厳守で応じています。希望する人は事前に電話で申し込んでください。なお、相談は無料です。

▽11月・12月の相談日
11月＝4日(火)・18日(火)
12月＝2日(火)・16日(火)
※時間はいずれも午前9時～午後3時半
▽ところ 弘前市保健センター(野田2丁目)
▽予約受付時間 午前8時半～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)
▽問い合わせ・予約先 弘前市保健センター(☎ 37・3750)

ずれも無料です。予約票がない人は、弘前市保健センターへ連絡してください。

※日本脳炎の予防接種は、現在、差し控えています。日本脳炎に感染するおそれが高いなど、ワクチン接種を希望する場合は、指定医療機関に相談してください。

【麻しん風しん混合・三種混合・二種混合・BCG】
通年接種です。対象は「健康と福祉」ごみ」で、受付時間は指定医療機関で確認し、早めに接種してください。

○麻しん風しん混合：1期 1歳～2歳未満/2期 5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間(4月1日～3月31日)
※平成20年4月1日から5年間の期限付きで、麻しん・風

しんの定期予防接種対象が、現在の1期と2期に加え、3期(中学校1年生に相当する年齢の者)、4期(高校3年生に相当する年齢の者)に拡大されました。対象に当たる人は、忘れずに接種してください。

○三種混合 生後3か月～7歳6か月未満(1期初回は20日～56日間隔で3回接種)
※接種間隔から外れると有料になります。医師に相談し、計画を立てて早めに接種を。

○二種混合 11歳～13歳未満
※三種混合予防接種の初回と追加を終了した児童、まだ接種していない児童は早めに医師に相談してください。

○BCG 生後3か月～6か月未満

第4回目は「健康はお口から」です。気軽にご参加ください。

【とき】

11月18日(火)
午前10時～11時

【ところ】

弘前市保健センター

【内容】

講話と健口体操：講師・市歯科衛生士

【対象】

65歳以上の市民 30人(先着順)

【参加料】

無料

【問い合わせ】

申込先 11月4日から、弘前市保健センターへ。

幼児子育て教室

▽とき 11月21日(金)
▽受付 午前10時～10時半(教室終了は午後0時半)

【ところ】

弘前市保健センター

【内容】

子育て相談/心理相談員によるミニ講話/親子遊び/身長・体重測定(希望者)

【対象】

市内在住の幼児(1歳以上)とその家族 40組(先着順)

【参加料】

無料

【持ち物】

母子健康手帳

【申込先】



に、弘前市保健センターへ。

乳幼児子育て教室

「離乳食教室」

【とき】

11月14日(金)
午後1時半～3時

【ところ】

弘前市保健センター

【内容】

離乳食講話・グループレッスン/はじめての歯みがき講座

【対象】

平成20年6月・7月生まれ

【参加料】

無料

【持ち物】

母子健康手帳

【申込先】

11月4日～7日に、弘前市保健センターへ。
※午後0時半～1時半には、乳児(0か月～11か月児)の身長・体重測定、赤ちゃん相談を行っています。申し込みは電話で、弘前市保健センターへ。

あおもり子育て応援わくわく店事業

青森県では、妊婦さんや18歳未満の子どもがいる子育て家庭を応援する「あおもり子育て応援わくわく店事業」を実施しています。

あおもり子育て応援わくわく店には次の2種類があり、妊婦さんや子ども連れの家族を対象にしたサービスを提供しています。

【にこにこ店】

料金割引や特典などのサービスを提供する店舗です。料金割引サービスなどには、あおもり子育て応援わくわく店事業ホームページやPRチラシに掲載しているクーポン券が必要です。また、携帯電話に表示されるクーポン画像の提示でもサービスを受けられます。

▽ホームページ <http://www.apio.pref.aomori.jp/kodomo/wakuwaku/index.html>

▽クーポン画像表示アドレス <http://www.apio.pref.aomori.jp/kodomo/wakuwaku/image/>

coupon.gif

【ほのぼの店】

ベビーベッド、授乳室、プレイルールの設置など、出掛けやすい環境に配慮したサービスを提供する店舗です(ほのぼの店のサービスにはクーポン券は不要)。

この事業に協賛している店舗とそのサービス内容は、ホームページで検索できます。

▽問い合わせ先 青森県子ども家庭支援センター(☎青森 017・722・5175) / 青森県健康福祉部子どもみらい課(☎青森 017・734・9301)

※この事業の協賛店(小売店、飲食店、その他サービス業の人)を募集しています。登録は無料です。詳しくは青森県子ども家庭支援センターへお問い合わせください。





弘前市は毎月5日を「りんごを食べる日」と条例で決めました。
(平成19年4月1日施行)

りんごと米の収穫祭

今年もりんご公園を会場に、秋の味覚いっぱい「りんごと米の収穫祭」を開催します。

りんごと米の収穫祭は、市内で収穫されたりんごや米など、弘前産の農産物のおいしさを市民の皆さんに知ってもらうとともに、地元農産物の消費拡大を図るため、毎年、関係機関・団体などの協力を得て開催しているイベントです。

当日は、りんご公園で収穫したりんごや、市内の農家の皆さんが丹精込めて生産したりんご・米・野菜などの農産物や漬物・豆腐・もち・菓子などの農産物加工品を販売します。

また、親子りんご皮むき大会やもちつき大会など、楽しいイベントも用意しています。入場料は無料です。家族みんなでおいでください。

▽と き 11月16日(日)

開会式＝午前9時半

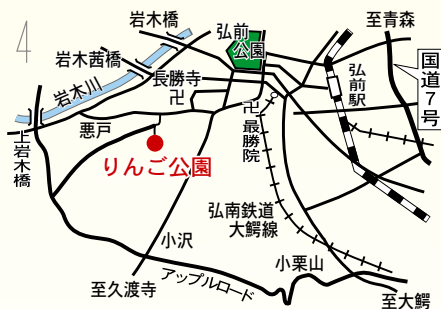
開場＝午前9時40分(午後2時終了)

▽ところ りんご公園(清水富田字寺沢)

※当日は駐車場が込み合いますので、なるべくバスの利用や自家用車に乗り合わせて来園を。

▽問い合わせ先 りんご農産課農産係(☎82・1636)

りんご公園案内図



●交通 弘南バス大秋・川原平線、相馬・藍内線で、常盤坂入口下車/100円バス「ためのぶ号」(弘前駅前～津軽藩ねぶた村～市役所前～茂森町～りんご公園)

※「ためのぶ号」は、乗車区間によっては200円になる場合があります。

入場記念品プレゼント

▽時 間 午前9時40分～

▽内 容 先着1,000人に、りんごジュースをプレゼント

米粉パン配布

▽時 間 午前10時半～

▽内 容 先着200人に、米の粉で作ったパンを無料で配布

もちつき大会

▽時 間 午前11時～、午後1時～

▽内 容 きねと臼でついた、つきたてのもちを来園者に振る舞います

親子りんご皮むき大会

▽時 間 午前11時半～

▽内 容 制限時間内にりんごの皮をむき、その長さを競います

ビンゴ大会

▽時 間 正午～

▽内 容 りんご公園ふれあい広場で開催。先着200人が参加できます



途中で切れないように慎重に！
(昨年の親子りんご皮むき大会)

今月の市税などの納期

市民税・県民税 第3期
国民健康保険料 第5期
介護保険料 第5期
後期高齢者医療保険料 第5期

納期限＝12月1日

☆毎月第4日曜日は納税相談日です。

☆納税は便利で確実な口座振替のご利用を。

ラジオでも市のお知らせを放送中！

周波数は78.8MHz FMアップルウェーブ



■市政みみより情報

毎週月～金曜日、午前7時半ごろ、午後5時15分ごろ

■行政なんでも情報

毎週月～金曜日、午前11時半ごろ

※災害・緊急時でもご利用を。随時情報を提供しています。